降誕節第4主日

No. 3

主日礼拝

2021年1月17日午前10時30分

前奏 「感謝に満ちて」 (即興)

参集 (報告・紹介・予定)

招詞

「わたしの神、主よ

あなたは多くの不思議な業を成し遂げられます。 あなたに並ぶものはありません。

わたしたちに対する数知れない御計らいをわたしは語り伝えて行きます。

あなたはいけにえも、穀物の供え物も望まず 焼き尽くす供え物も

罪の代償の供え物も求めず

ただ、わたしの耳を開いてくださいました。」

(詩編40:6,7)

リタニー 「新しい一年のはじまり」

司式者:神さま、新しい一年がはじまりました。

会 衆:この新しい年も、神さまに礼拝をささげます。

司式者: うれしいことや楽しいこと、もしかしたら失敗も

会 衆:全部、神さまのめぐみだと信じます。

司式者:でも、消えない不安があります。

会 衆:戦争、差別、病気、おなかのすいたお友だち、

おうちのない人。

司式者:神さま、その手で、みんなを守ってください。

会 衆:私たちの手をつないでひとつにしてください。

一 同:新しい一年、助けあい、お互いを大切にしあい、 神さまの計画にしたがって歩めますように。

アーメン。

祈祷

金額

献金箱が受付に置いてありますので、礼拝前にお献げください。

主の祈り

デにまします我らの交よ、 ねがわくは み名をあがめさせたまえ。 み国を来らせたまえ。 みこころのデになるごとく 地にもなさせたまえ。 我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。 我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、 我らの罪をもゆるしたまえ。 我らをこころみにあわせず、 悪より救い出したまえ。 国とちからと栄えとは限りなくなんじのものなればなり。 アーメン。

聖書 マタイによる福音書 4:18~25 新約(新共同訳) P5~P6

イエスは、ガリラヤ湖のほとりを歩いておら れたとき、二人の兄弟、ペトロと呼ばれるシ モンとその兄弟アンデレが、湖で網を打って いるのを御覧になった。彼らは漁師だった。 イエスは、「わたしについて来なさい。人間 をとる漁師にしよう」と言われた。二人はす ぐに網を捨てて従った。そこから進んで、別 の二人の兄弟、ゼベダイの子ヤコブとその兄 弟ヨハネが、父親のゼベダイと一緒に、舟の 中で網の手入れをしているのを御覧になると、 彼らをお呼びになった。この二人もすぐに、 舟と父親とを残してイエスに従った。 イエスはガリラヤ中を回って、諸会堂で教え、 御国の福音を宣べ伝え、また、民衆のありと あらゆる病気や患いをいやされた。そこで、 イエスの評判がシリア中に広まった。人々が イエスのところへ、いろいろな病気や苦しみ に悩む者、悪霊に取りつかれた者、てんかん の者、中風の者など、あらゆる病人を連れて

来たので、これらの人々をいやされた。こう

して、ガリラヤ、デカポリス、エルサレム、 ユダヤ、ヨルダン川の向こう側から、大勢の

群衆が来てイエスに従った。

賛美 402-1・3「いともとうとき」



- いともとうとき イエスの恵み 罪に死にたる 身をも活かす。
 主よりたまわる 天の糧に 飢えしこころも いまは満ちぬ。
 世にあるかぎり、主のみ栄えといつくしみとを 語り伝えん
- 3 語り尽くせぬ イエスの恵み。
 いとも小さき われをも召し、
 天の世嗣と なしたまえば
 たれか洩るべき 主の救いに。
 世にあるかぎり、主のみ栄えと
 いつくしみとを 語り伝えん

説教「イエスさまへの第一歩」

賛美 516-1・3・4「主の招く声が」



派遣

司式者 主は言われます。

「わたしは誰を遣わすべきか。」

会 衆 わたしがここにおります。 わたしを遣わして下さい。

祝祷

アーメン



後奏 「サンクトゥス」 (即興)

司 式 山野上 純子 説 教 向井 希夫牧師 奏 楽 佐々木 悠

※お立ちになるのが困難な方は、

座ったままで礼拝をお守り下さい。

※賛美歌の最後には、基本的に「アーメン」を付けません。